

「第1回農村RMO伴走者育成講座」

令和6年度の本講座は2回予定しており、農村RMOの形成を目指すそれぞれの地域での現状分析や話し合いを効果的に進めるための手法等のスキルを身につけてもらい、「**農村RMO伴走者**」となる人材育成を目的としています。

第1回

黒部市東山地区を研修モデルとして

「**地元学**」を取り入れた現地研修



第2回

(10月上旬開催予定)

立山町釜ヶ淵地区を研修モデルとして

「**農村RMO取組プロセス解剖**」

現地研修



令和6年8月6日(火)9:30～16:30(予定)

会場 黒部市生涯学習スクエア「ぷらっと」

(黒部市宇奈月町浦山2100番地2)

講師



一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩 氏

1959年鳥根県益田市生まれ。82年一橋大学経済学部卒業後、広島大学大学院国際協力研究科などを経て、98年鳥根県中山間地域研究センター研究統括監就任。17年3月に同センターを退職、一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所を設立、所長就任。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「人口ビジョンをつくる」、「小さな拠点をつくる」(農文協)など。

対象者

富山県内の市町村及び県職員等中山間地域振興に関わる行政職員、NPO法人、集落支援員等

プログラム

- ◆ ワークショップ
 - ①3つのテーマに分かれて現地調査
 - ②現地調査のとりまとめ
- ◆ 成果発表

申込期限・申込方法

令和6年7月17日(水)までに下記担当までお申し込みください

問い合わせ

富山県農林水産部農村振興課
担当 飯村、舛崎
TEL 076-444-9011
E-mail:tomoko.masuzaki@pref.toyama.lg.jp

地域の魅力を再発見し、農村RMOの形成に活かす 「地元学」を実施します。

「地元学」とは??

「地元学」とは、地域に住む住民が先生役(案内人)となり、地域の暮らしや生業、歴史文化について、地域外の訪問者に教える取り組みです。

この活動を通じて、外から見た新鮮な視点を取り入れることで、地域の住民自身も日常では見過ごしがちな地域に伝わる知恵や技、そして思いを描き出し、地域の魅力を再認識することが狙いです。



農村RMOの形成においても、「地元学」によって描き出された地域の魅力や強みは、重要な資源として位置付けられ、地域ぐるみでの保全・活用に向けた活動への展開と組織の強化に繋がることが期待できます。

当日の流れ(イメージ)

本講座参加者が生徒役となり、地域に住む住民の先生役から、地域のことを学び、「あるもの探し」を体験します。

農村RMOの3本柱から東山地区の魅力を描き出します。

農用地保全

地域資源活用

生活支援



現地調査



まとめ作業



成果発表